

2018（平成30）年7月17日

3 学年保護者の皆さまへ

伊丹市立伊丹高等学校
PTA 会長 亀島 博美
学年部長 芦野 朝子

3 学年保護者会だより

毎日暑い日が続きますが保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素はPTA活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、7月2日(月)に開催されました「3 学年保護者会」の報告をいたします。

(参加人数：保護者 70 名、先生方 9 名、合計 79 名でした。)

〔学校長あいさつ 柴田 尚剛 教頭〕

皆さんこんにちは、教頭の柴田です。学校長は出張していますので、代わって私がご挨拶させていただきます。本日は暑いところ、そしてご多用の中、お越しいただきありがとうございます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。さて、本日は進路の話が中心になるかと思えます。世の中の変化と同様、毎年のように進路に関する情報も変わっていきます。ご兄弟がいて去年や 2 年前の情報をお持ちの場合でも、ぜひ最新の情報を持ち帰って、ご家族で話し合ってくださいと思います。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

〔学年主任あいさつ 福村 泰彦 先生〕

専門学校希望者は、AO入試の受験日や出願の可否が決まり出しました。就職希望者は7月19日から求人票の公開が始まります。いよいよ具体的な進路に向かって動き出しました。そして、大学・短大進学者は本当の意味での「受験生」になる夏がやってきます。具体的に受験生は、いかに夏の学習に取り組み始めることができるかが、最初の関門です。7月11日(水)から終業式までの10日間(土日含む)は、「プレ夏休み」と位置付けましょう。3年生の夏休みは、これまでと異なり、学校からまとまった課題はありません。皆さん一人ひとりの必要に応じて、学習を組み立てなければいけません。第1関門は、自分で学習材料をそろえることができるかどうかです。第2関門は、自らの設定した課題を日々の学習に位置付けることができるかどうかです。この10日間でいろいろなことを試して、21日から本格的スタートを切ることが大切です。

本日の資料に、「プレ夏休みから取り組むべきこと」を3点あげていますので参考にして下さい。

- ・夏の学習に向けて
- ・進研マーク模試個人成績票返却
- ・三者懇談に向けて

また、入試方法別のポイントと、受験生の心得を思いつく限り記しました。参考にして下さい。

〔学年進路係 辻 克樹 先生〕

○ 2018 年度入試概況について

1. 「私立大学における入学定員の厳格化」について

・2015 年 7 月文部科学省より、私立大学の入学定員超過率に応じた補助金の厳格および不交付措置の規準改正。2019 年度入試まで段階的に厳格化が進む。

・また、学部新設が不認可となる定員充足率も段階的に厳格化されてきており、こちらは収容定員 4,000 人未満の大学も含む全ての大学に影響がある。

・私立大 志願者数 359 万人（WEB 出願や受験料割引制度など影響）前年比 107%
合格者数 87 万人 前年比 96%（定員厳格化の影響）

関関同立合格者数 前年比 89%

・各大学は補欠合格制度で対応している。 関西学院大：前年比 104%

注意点：段階的に追加合格となるため入学金の納入の時期が併願校と重なる。

2. 地元志向、文高理低

・地元志向：入学定員の厳格化が後押し

・文高理低：就職状況が好調のため、経済・経営・商・社会学が人気

文理融合型の学部も人気

3. 多面的・総合評価

・英語外部試験の活用（英検 2 級レベル以上）

関西学院大：グローバル入試、関西大：英語外部試験利用入試

甲南大・近畿大：「みなし得点」扱い など

9/1 GTEC（オフィシャル）を校内実施、英検同様入試に活用できる

・国公立大学における推薦・AO入試の拡大、（同時に後期日程の廃止・縮小傾向）

国公立大学の後期日程は 4 年間で 1 割減

国公立大学の推薦・AO入試では小論文、面接が実施される

・私立大学では 2007 年以降推薦・AO入試による入学者が一般入試を上回っている。

私立大学の推薦・AO入試の志願者増加傾向（私大難化による受験機会の確保）

4. 2019 年度入試の展望

・入学定員の厳格化、国公立大学の後期日程の廃止・縮小、2021 年大学共通テストの導入により、安全志向が強まり、結果として私立大学の志願者の増加が見込まれる。

○市立伊丹高校の取り組みについて

・模擬試験（4 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月）受験後に学年・各教科で振り返り

・小論文模試（4 月、5 月、7 月、9 月）推薦入試対策として今年度より実施

・トワイライト講座（英語 2 講座、数学 1 講座、地理 1 講座、国語 2 講座、計 6 講座）

・夏期補習（35 講座）学年だけでなく市高全体で協力・実施

・センタープレテスト希望者対象、来年 1 月上旬に実施予定、センター試験の練習会

・その他

個別進路検討会、自習教室・教材の確保、英検、GTEC の実施、通常補習、

横断的な個人面談、進路ガイダンス、面接・小論文指導

○年間予定表について

○進路実現にむけて

・定着した学力

小テスト、授業、模試、出題形式等に関係なく解答を導き出せる力

「ああ、知っていたのに」をとにかく減らしていく

各大学が公表している合格最低点を問題を解く際の指針とする

・AO、推薦、併願の受験戦略

進学希望者はセンター試験を必ず受験する

各大学により様々な入試のパターンがあるため自分で調べ抜く

・家庭内での情報共有

真剣に話を聞き、共に考えて頂きたい

・進学費用の準備

どの大学も日程による難易度、傾向方式に差がないため、受験機会が多ければ合格する可能性も高まる

・挑戦する気持ち、姿勢

7月、8月に自律型学習者として勝負！！

〔1組担任 辻 克樹 先生〕

G Cコースの生徒たちと集大成の3年目を過ごしています。これまで2年間は「クラス全体」を押し上げようと色々取り組んできましたが、今年度はクラス全体のことは生徒に任せ、より「個人」の目標達成に焦点をあててクラス運営に努めます。生徒自身が、英語と他教科、G C生と受験生、素直さと負けず嫌いなど、あらゆるBALANCEを大切に高校三年生の1年間を過ごせるよう全力でサポートしていきます。G C3年生≧受験生を意識しながら。

〔2組担任 津田 悠希 先生〕

2組は文理の生徒がほぼ半分ずつで構成されており、4月時点では多くの生徒が国公立大学を志望しています。4・6月模試の結果をふまえて、国公立志望として5教科を勉強して行くのか、私立3教科に絞って勉強するのか、この夏が決断の時だと考えています。三者面談の際に意思の確認をさせていただきたいと考えております。判断材料として、成績だけでなく、残り半年間幅広い教科の学習をやり抜くことが出来るのか、気持ちの面で頑張れるのかを考えてください。クラスの雰囲気として、良くも悪くも真面目な生徒が多く、空き時間があれば勉強をしています。担任としては、勉強と学校行事の両方を本気で楽しんでもらいたい、二兎を追って二兎を得る、最高の状況で受験を迎えて欲しいです。

〔3組担任 中村 須美代 先生〕

3組は看護医療栄養系を含めて全員理系で38名のクラスです。やや幼いところもあるものの、活気ある生徒が多いと感じています。琵琶湖遠足では、カヌーやドラゴンボート、琵琶湖博物館見学など積極的に活動することができました。文化祭では、3組の個々の個性を活かした吉本新喜劇に挑戦しました。特に最後の数日は、少しでもよい劇にしようと頑張っていました。役者の演技だけではなく、大道具・衣

装・音響・照明も工夫を凝らしており、見事優秀賞を獲得しました。勉強に関しては、朝早く来て勉強したり、休み時間にわからない問題を教え合ったりと、隙間時間を活かして勉強している姿が増えてきました。文化祭で見せた向上心と団結力で、38名全員が互いに高め合って、進路実現できるよう努力していきますので、ご協力よろしくお願いたします。

〔4組担任 中村 公一 先生〕

本日欠席。夏休みの三者懇談等でクラスの様子をお伝えしたい。

〔5組担任 松本 海 先生〕

5組は私立文系型のクラスであり、全員が日本史選択者です。クラスの雰囲気は勉強に対する意識が高く、受験に集中できそうだとことを、生徒が口をそろえて話していました。クラス単位で授業を受けることが多くなりますので、雰囲気を大事にして全員が向上心を持って授業に取り組むように伝えていきます。また、クラス方針として「自己実現のための充実した3年生」を掲げています。勉強だけでなく、学校行事や日々の生活や行動、考え方なども大事にして、卒業後も自分の夢や目標に突き進んでいけるような人間になってほしいと思っています。

〔6組担任 太田 美緒 先生〕

6組は看護医療、栄養が若干名いるが、私立文系のクラスです。大変元気なクラスで、行事や学習のON・OFFのスイッチがきちんと切り替わるクラスだと思っています。文化祭前には担任不在だった期間がありましたが、文化委員を中心に自分たちで進めていく姿勢には成長を感じ、また感心しました。このような力を今後も養ってほしいと願っています。また、委員会活動など、自分の仕事に責任を持って、きちんとやり遂げてくれます。夏休みにかけ、自分たちの進路目標に向けて、しっかりと学習をやりきってほしいと思います。目標500時間！を、どこまで追えるのか、見届けたいです。クラス全員で頑張る雰囲気をサポートしたいと思います。

〔7組担任 巽 敦央 先生〕

7組は、3年間同じクラスでやってきています。そのため、文化祭では、自分たちがすべきことを認識しており、適材適所で行えていたと思います。キャストは、本番が近づくにつれて、日に日に演技が上達し、裏方も、衣装に大道具、小道具も非常に頑張っていました。そのため、文化祭の講評として、「衣装が素晴らしかった」という意見をいただき、壁画に関しては、優秀賞をいただきました。進路に関しては、大学進学、就職、専門学校と進路が多様で、私自身がどこまでサポートできるか心配な部分がありますが、38人全員が希望する進路に向かえるように頑張っていきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。